



～学び 愛し 翔る 西郷小～

西郷富士

QRコード
登録お願
いします。



西郷小学校

令和2年度 16号

令和2年 7月16日

文責 校長 田中裕子

高学年の皆さんの地道な活動が学校を支えています

飼育委員会



掃除、給餌、放送と毎日だれかがウサギたちのお世話をしてくれています。登校時には毎朝誰かが立ち止まってしばしその様子を見入っており、ほっとする時間となっているようです。

佐藤さんのおばあちゃんには、いつもウサギの大好物の葉っぱをご持参いただいています。子ども達にもたくさんの方がお野菜を持たせてくださりありがとうございます。

(ちよっとふっくらしたかも…)

運営委員会

先日代表委員会が開催され、「体育大会を盛り上げよう」について話し合いが行われました。スローガンでは6年1組と2組の合体したものが採用されたそうで、6年生のまとまりを感じました。

また、学校の方向性を決める重要な代表委員会。各クラスの代表の子供達の話し合いの仕方が素晴らしかったそうで、話し手の方を向く、言いたいことをはきはきと伝えるなど見本となる姿だったそうです。

給食委員会

先日、食べ残し調査が行われました。その結果見事「6年2組」が最も少ないクラスとして表彰されました。お世話をしてくれたのは給食委員会です。他にも給食献立コンテストや毎日の給食カレンダー、放送などを行って来ています。



環境・広報委員会

靴箱には子供達の心の状態が如実に表れます。靴をそろえることで気持ちが落ち着き、これからやることへの心構えができます。環境・広報委員会さんが靴箱の状態を調べてくれるようになりました。

「靴そろえは心そろえ」

委員会の皆さんがやってくれていることは、みんなの心をそろえるために大切な役割を果たしています。

～さりげない優しさ～

5年生は先日家庭科で裁縫の学習をしました。そこで、古川さんが自分でコースターを作り、それを見守り隊の方にそっと手渡したそうです。

すると、信号のところで立ってくださっていた隊の方が、あまりしやべれなかったけど、「ありがとう」と言われたそうです。

大久保先生からこのご報告がありました。家庭科で培った力がこうして周りの人を喜ばせることになることを改めて感じ、こちらまで嬉しくなりました。 おむすびチームさん→



給食指導は積み重ねが大切

給食は法律に基づき、栄養素やカロリー、量をグラム単位で計算し、栄養教諭が中心となって作っています。児童の健康上、完食できることが望ましく、そのために担任は10分もかかることなく食べてしまい、可能な限り子供達が完食できるように指導しています。子供達は不思議なもので周りが食べるようになると自分もと雰囲気のにまれるところがあり、クラス全体で食べるぞというモードにしてしまうのも担任の仕事です。クラスによっては、完食できた日にはシールを貼る等して、完食をめざしているところもあります。もちろん個人差がありますので、食べる量については差があることも配慮しながらやっています。

他にも準備、片付け等を通して責任感や感謝の心を育てています。給食指導は学級経営にも大きく影響する大切な指導です。

西慶寺 亀山様より (横武1702)

今年の梅雨は全国で多大な被害が起こっており、大変心配な状況となっております。本地区でもまだ今週末も雨が降るとの予報も出ており、予断を許さない状況です。

さて、そのような中大変有り難いお申し出をいただきました。亀山ご住職様より、児童がお困りの際には是非とも、西慶寺を活用してくださいとのことです。境内(本堂の外)には水洗トイレを設置されており、ご利用くださいとのことです。また、児童の登下校に際し、大雨・雷・不審者など危険を感じた時は、いつでも避難所として利用してもよいとのことです。ちなみに西慶寺の本堂はセキュリティ防犯カメラが設置されており、防犯面でも配慮されています。

横武地区だけではなく、近くを通る子どもたちにもお知らせくださいとのことでしたので、この場を借りてご案内させていただきます。



